

<p>富士スピードウェイ CO<sub>2</sub> 排出量20%減</p>	<p>NIPPO、中温化 合材活用し舗装改修</p>	<p>富士スピードウェイ（静岡県小山町）が環境負荷低減の取り組みとして、イベント広場のアスファルト舗装改修工事で二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量を約20%削減した。施工をNIPPO</p>	<p>Oが担当し、アスファルト合材の製造温度を最大30度程度低減できる「フォームドアスファルト」による中温化（低炭素）アスファルト合材（ECOフォームド）<sup>2</sup>を活用した。</p>	<p>合材の製造温度や施工温度が下がっても品質や施工性を確保できるのが特徴。製造温度が下がると化石燃料の使用量も減るため、CO<sub>2</sub>排出量の削減効果がある。アスファルト舗装は施工後、路面温度が50度以下になってから開放するが、ECOフォームドは製造温度が低いため、路面開放までの時間を短縮できる。</p>	<p>富士スピードウェイ内イベント広場の舗装改修工事は2023年3月9日に実施。施工面積は6119平方メートル。厚さ5センチの透水性舗装を打ち換え、アスファルト混合物の製造過程でCO<sub>2</sub>排出量を約2・8割削減した。施工から9カ月が経過し、舗装に凹凸や水たまりはなく健全な状態を保っていることを確認した。</p>
---	--------------------------------	--	---	---	---

---

イベント広場舗装で  
CO<sub>2</sub> 排出20%削減  
富士スピードウェイ  
施工NIPPO

富士スピードウェイは、イ  
ベント広場の舗装改修工事で  
CO<sub>2</sub> 排出量を約20%削減し  
た。施工はNIPPOが担当

し、アスファルト合材の製造  
温度を最大30度ほど低減でき  
る技術「フォームドアスファ  
ルトによる中温化（低炭素）  
アスファルト合材（ECOフ  
ォームド）」を活用してCO<sub>2</sub>  
の排出量の削減を図った。  
工事名は「FSW」構内道路

アスファルト舗装改修工事」。  
施工面積6119平方メートル、厚  
さ5センチの透水性舗装の打ち換  
え工事で、ECOフォームド  
によりアスファルト混合物の  
製造に伴うCO<sub>2</sub>を2・8ト  
ン削減し、アスファルト合材は  
135度程度で製造した。  
工事場所は静岡県小山町中

日向694。施工現場からア  
スファルトプラントまでの距  
離は10キロで、最高気温17度の  
冬季施工だった。

---